

災害復旧工事の設計要領 目 次

第 I 編 一 般 事 項

第 1 章 総 則	3
第 1 節 一 般 事 項	3
1 - 1 査定設計書作成上の留意事項	3
1 - 2 大規模災害における復興係数・復興歩掛について	8
1 - 3 総 合 単 価	8
1 - 4 災害復旧工法の工夫について	10
第 2 節 工事費の構成	13
2 - 1 工事費の構成	13
第 2 章 工事費の積算	15
第 1 節 直接工事費	15
1 - 1 材 料 費	15
1 - 2 労 務 費	15
1 - 3 直 接 経 費	15
第 2 節 間接工事費	23
2 - 1 総 則	23
2 - 2 共通仮設費	23
2 - 3 工 種 区 分	23
2 - 4 算 定 方 法	24
2 - 5 共通仮設費の率分	29
2 - 6 運 搬 費	33
2 - 7 準 備 費	45
2 - 8 事業損失防止施設費	45
2 - 9 安 全 費	46
2 - 10 役 務 費	47
2 - 11 技術管理費	48
2 - 12 営 繕 費	49
第 3 節 現場管理費	52
3 - 1 現場管理費の項目及び内容	52
3 - 2 現場管理費の算定	53
3 - 3 現場管理費率の補正	53
3 - 4 支給品の取扱い	56
3 - 5 現場管理費の積算	56

3-6 「処分費等」の取扱い	57
3-7 現場管理費の計算	57
第4節 現場発生品及び支給品運搬	60
4-1 適用範囲	60
4-2 施工パッケージ	60
第3章 一般管理費等及び消費税相当額	63
第1節 一般管理費等	63
1-1 一般管理費の項目及び内容	63
1-2 付加利益	64
1-3 一般管理費等の算定	64
1-4 一般管理費等率の補正	64
第2節 消費税等相当額	66
第4章 数値基準	67
第1節 数値基準	67
第5章 建設機械運転労務等	71
第1節 建設機械運転労務	71
1-1 適用職種	71
1-2 労務歩掛	71
第2節 原動機燃料消費量	72
2-1 適用範囲	72
2-2 燃料消費量	72
第3節 機械運転単価表	79
第4節 一般事項	88
4-1 建設機械運転労務	88
4-2 指定事項における運転労務数量について	88
4-3 運転日当り運転時間 (T)	88
4-4 運転手を計上する機械	88
4-5 労務単価について	89
4-6 歩掛について	89
4-7 運転手職種別の対象機械	90
第6章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算	95
第1節 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について	95
第7章 災害査定設計書記載例	99
第1節 積上げ積算による査定設計書記載例(河川災害復旧工事)	99

第Ⅱ編 共通工

第1章 土 工	107
第1節 土量変化率等	107
第2節 土 工	112
2-1 土 工	112
2-2 土工(ICT)	144
第3節 作業土工	154
3-1 床掘工	154
3-2 埋戻工	162
第4節 人力運搬工	168
第5節 安定処理工	172
5-1 安定処理工	172
5-2 安定処理工(自走式土質改良工)	175
第6節 土砂運搬工(不整地運搬車による運搬)	179
第2章 共通工	183
第1節 法面工	183
1-1 法面整形工	183
1-2 法面整形工(ICT)	192
1-3 芝付工	195
1-4 コンクリート法枠工	197
1-5 法面施肥工	208
1-6 吹付法面とりこわし工	209
1-7 プレキャストコンクリート板設置工	212
1-8 人工張芝工	216
第2節 基礎・裏込砕石工	219
第3節 コンクリートブロック積(張)工	223
第4節 石積(張)工	249
4-1 石積(張)工	250
4-2 平石張工	260
第5節 場所打擁壁工	264
5-1 場所打擁壁工(1)	264
5-2 場所打擁壁工(2)	279
第6節 プレキャスト擁壁工	283
第7節 補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁)	287
第8節 ジオテキスタイル工	293
第9節 排水構造物工	300

9-1	排水構造物工	300
第10節	軟弱地盤処理工	331
10-1	サンドマット工	331
10-2	粉体噴射攪拌工(DJM工法)	333
10-3	スラリー攪拌工	339
第11節	アンカー工(ロータリーパーカッション式)	348
第12節	構造物とりこわし工	361
第13節	コンクリート削孔工	364
第14節	ガス切断工	371
14-1	ガス切断工	371
第15節	吸出し防止材設置工	373
第16節	目地・止水板設置工	375
第17節	旧橋撤去工	380
第18節	かご工	396
第19節	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	403
第20節	現場取卸費	415
第21節	骨材再生工(自走式)	420
第22節	函渠工	424
22-1	函渠工(1)	424
22-2	函渠工(2)	431
第23節	殻運搬	434
第3章	基礎工	441
第1節	鋼管・既製コンクリート杭打工(パイルハンマ工)	441
第2節	鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)	448
第3節	杭頭処理工	456
第4節	場所打杭工(全回転式オールケーシング工)	457
第5節	場所打杭工(リバーササーキュレーション工)	464
第6節	場所打杭工(アースオーガ工, 硬質地盤用アースオーガ工)	471
第7節	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)	477
第8節	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)	487
第4章	コンクリート工	507
第1節	コンクリート工	507
第2節	型枠工	520
第3節	張りコンクリート工	525
第5章	仮設工	535
第1節	鋼矢板(H形鋼)工(バイプロハンマ工)	535

第2節	油圧圧入引抜工	559
第3節	矢板工(アースオーガ併用圧入工)	574
第4節	鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜工)	578
第5節	鋼矢板施工法選定(参考)	581
第6節	仮設材設置撤去工	585
第7節	足場支保工	594
7-1	足場工	594
7-2	支保工	597
第8節	締切排水工	600
第9節	土のう工	605
9-1	土のう工	605
9-2	大型土のう工	606
第10節	仮橋・仮栈橋工	612
第11節	仮囲い設置・撤去工	625
11-1	仮囲い設置・撤去工	625
第12節	仮設防護柵工(切土及び発破防護柵工)	627
第13節	敷鉄板設置・撤去工	631
第14節	法面工(仮設用モルタル吹付工)	634

第Ⅲ編 河 川

第1章	河川海岸	641
第1節	消波根固めブロック工	641
第2節	消波根固めブロック工(ブロック撤去工)	672
第3節	捨石工	676
第4節	消波工	679
第2章	河川維持工	697
第1節	多自然型護岸工	697
1-1	巨石積(張)工	697
第2節	木杭打工	705
第3節	巨石据付工	707
第4節	護岸基礎ブロック工	709
第5節	かごマット工	717
5-1	かごマット工(スロープ型)	717
5-2	かごマット工(多段積型)	719
第6節	ブロックマット工	723
第7節	野芝種子吹付工	727
第8節	袋詰玉石工	731

第9節	笠コンクリートブロック据付工	734
第10節	連節ブロックの水中吊落し工	738
第3章	砂 防 工	741
第1節	土 工	741
〔1〕	土 工	741
〔2〕	土工(ICT)	752
第2節	コンクリート工	758
〔1〕	コンクリート工	758
〔2〕	コンクリート工(ケーブルクレーン打設)	765
第3節	仮 設 備 工	773
第4節	石材等採取工(割石, 雑割石, 野面石採取)	780
第4章	地すべり防止工	783
第1節	集水井工 しゅうすいせい (ライナープレート土留工法)	783
第2節	地すべり防止工(集排水ボーリング工)	791
第3節	地すべり防止工(山腹水路工)	799
第4節	地すべり防止工(ふとんかご)	812
第5節	地すべり防止工(じゃかご)	815
第6節	集排水ボーリング孔洗浄工	818

第Ⅳ編 道 路

第1章	舗 装 工	823
第1節	路 盤 工	823
1-1	路 盤 工	823
1-2	路盤工(ICT)	833
第2節	アスファルト舗装工	840
第3節	コンクリート舗装工	852
第2章	付 属 施 設	859
第1節	防護柵設置工	859
1-1	ガードケーブル設置工	859
第2節	落石防止網(繊維網)設置工	864
第3節	立入り防止柵工	865
〔1〕	立入り防止柵工	865
〔2〕	箱 抜 き 工	872

第3章 道路維持修繕工	875
第1節 路面切削工	875
第2節 舗装版破碎工	881
第3節 舗装版切断工	886
第4章 共同溝工	891
第1節 電線共同溝工(C・C・BOX)	891

第V編 建設機械経費

第1章 機械経費	911
第1節 請負工事機械経費積算要領	911
第2節 建設機械損料表の見方について	917
第3節 建設機械等損料算定表	921

第VI編 参考資料

第1章 歩 掛(参考)	1007
第1節 アンカー式空石積工	1007
第2節 連続繊維補強土工	1012
第3節 落石防護柵設置工(人力施工)	1018
第2章 設計資料	1021
第1節 基礎資料	1021
1-1 流速計算表	1021
1-2 丸太材積(立方メートル)	1023
1-3 鋼材諸元	1025
1-4 河川港基準面一覧表	1028
第2節 設計資料	1029
2-1 のり面保護工選定資料	1029
2-2 ブロック積	1033
2-3 擁壁設計資料	1041
2-4 地すべりの安定解析と安全率	1050
2-5 地すべり防止工法例	1064
2-6 アンカー工の設計・施工	1071
2-7 護岸用鋼矢板選定についての留意点(参考)	1074
2-8 鋼矢板護岸(査定参考)	1074
2-9 一般鉄筋コンクリート設計資料	1109
2-10 コンクリートの養生について	1112

2-11	仮締切堤設置基準(案).....	1113
2-12	鋼矢板二重式仮締切工法.....	1117
2-13	砂防堰堤設計資料.....	1117
2-14	橋梁計画に関する資料.....	1120
2-15	海岸の根固工, 消波工の設計.....	1125
第3章 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について.....		1127
第1節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について.....		1127
1-1	これまでの改定経緯.....	1127
1-2	平成30年の改定について.....	1128
1-3	ガイドラインの位置付け.....	1129
1-4	災害復旧の基本的な考え方.....	1129
1-5	原形復旧のポイントについて.....	1131
1-6	改良復旧のポイントについて.....	1137
1-7	多自然川づくりアドバイザー制度等.....	1143
第2節 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」ガイドラインの改定について.....		1145
〔参考資料〕 激甚な災害後の大規模な河川整備における一層の河川環境の保全を目指して -「多自然型川づくり」アドバイザー制度の創設-		1170
第3節 環境に配慮した海岸の災害復旧.....		1173
第4節 改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について.....		1176
第5節 改良復旧事業の事例.....		1190
第4章 災害復旧工法について.....		1201
第1節 河川護岸工法検討例.....		1201
第2節 復旧工法の事例.....		1203
第3節 多様な護岸工法の試み事例.....		1218
第4節 そ の 他.....		1230
主要技術基準及び参考図書.....		1237